

## ◎ 桑名市「多世代共生施設 らいむの丘」に参加して



桑名は、ボランティアセンターに登録する時、ボランティア連絡協議会にも登録するか？の所に☑すれば加入する。ボランティアセンターに登録しているのは80団体で、そのうち☑したのが15団体。桑名で特徴なのが5社企業が加入していることです。

◎ ◎ 最近、社会の求めに応じて企業価値をあげるCSRに熱心な企業人が増えてきました。加入に至ったいきさつと活動内容を紹介します。



①くわしん会：地元の銀行として社会貢献に意欲

を持った部長が社協に相談して入会に至った。祭りの会計担当（レジ）、商品の提供、全店舗（30）にチラシの掲示など。

②ヤマモリ(株)：会社が桑名ボラ連会長宅の隣にあり誘いを受けて入った。イベントのとき醤油、釜めしのもとなどを提供している。

③瑞宝産業(株)：あかりプロジェクト桑名の顧問をしており、CSRに熱心である。イベントのとき時雨を提供している。

④(株)てしお夢ファーム：全国展開している企業であるが、責任者は若い人が多く、各地でCSRに取り組んでいる。イベントでトマトなどを提供している。（研修部会 吉原勝範記）



◎多世代共生施設とのことで、様々な事業が入っており、楽しく視察させていただきました。静かな施設と言うわけではなく、子ども達の遊び声が響いており、緑も見られる。更には売店もあり、一見、施設と言っても施設とは思えないような感じでした。

「ゆりかごから墓場まで」という言葉があるように、一生における、ゆきとどいた社会保障の在り方を考えさせられる施設でした。

生まれた時から、老いるまで。連携の取れた繋がった福祉というのは、利用する上でとても安心できるのではないかと思います（研修部会 NPO 法人 shining 太田貴子記）



事業部会から

## ～だれもが安心して暮らせるまち 鈴鹿をめざして～「集い」開催

### ボランティアとSDGs

令和6年2月4日（日）、「すずかハートフルプラン」と私たちにできるSDGsの取り組みをテーマに「ボランティアの集い」が開催されました。

鈴鹿市障がい福祉課 福中課長から「すずかハートフルプラン」について、三重県地球温暖化防止活動推進員の落合様、吉田様から「SDGs 17の開発目標を考えよう」という講義を受け、グループワーク、工作（牛乳パックでキューブ作り）を行いました。グループワークでは活発な意見交換がなされ、キューブ作りでも「できた」と、うれしそうな声とたくさんの笑顔が見られました。

みんなの目標とSDGsの関連性、そしてボランティア活動との関係を考えるよい機会となったと思います。今後もボランティア同士の集いの場を持ち、情報交換、交流ができ、自分の出来ることでつながっていかれたらと思います。

～だれもが安心して暮らせるまち 鈴鹿をめざして～

宮崎悦子



事業部会から

## ♡「ボランティアの集い」グループワークのまとめを次につなぐ♡

鈴鹿市障がい福祉課からは、「『すずかハートフルプラン』や、障がいのある方の就労、災害時のことなどいろいろ関心を持っていただいているのがわかり、うれしく思いました。』

吉田先生からは、「今の自分を少しでも変えていきたいものです。今日以降どんな新しい自分が生まれたのか考えていただければ嬉しいです。」とそれぞれお返事がありました。参加者の方からも、「すずかハートフルプラン」のことや「SDGs」のことをもっと知りたいと次への課題も寄せられました。

ご協力ありがとうございました。参加者 53 名



たんぼぼハーモニーの演奏と社協亀井会長



### 令和5年度 鈴鹿市ボランティア連絡協議会と退任者挨拶ほか

#### ◎皆木副会長 鈴鹿での出会いに感謝

夫の転勤による各地でのボランティア活動と出会い。自分にできることを続けて千葉から転居して間もない私に、「皆木さん運営委員やりませんか」と声をかけられ「はい」と臨むとなんと書記のお役目が待っていた。20年以上前になるかもしれない。鈴鹿の地で望み以上のいい出会いができ、運営委員として皆様に支えられここまで来たことに感謝です。有難うございます。小動物の生命とかかわる会の活動は、形を変えながらも続けていきたい。これからもよろしく願います。

#### ◎社協：齋木 ボランティアさんたちとの出会いに感謝♡

鈴鹿市社会福祉協議会で社会人2年生になりました。皆さまには1年目からボランティアのことや、人としていろんなことを教わりました。講座や会議を開催・参加させてもらったり、演奏やマジックなどの上演活動の日程調整をさせていただいて見学させてもらったり、様々な場所で皆さまと関わった毎日は輝いていて、とても楽しかったです。全ての思い出がかけがえのない宝物



💎この出会いや心のトキメキを忘れず、今後も頑張っ、皆さまのボランティア活動に公平で寄り添ったサポートができるボランティアセンターの運営を目指します。

★皆さま、これからもずっと、よろしく願いいたします💎



#### 編集後記

元日の能登半島地震に見舞われ、亡くなられた方々のご冥福を申し上げますと共に、被災した方々の一刻も早い平穏な暮らしをお祈りいたします。ボラ連では先輩諸氏の寄付による基金の一部を、トルコ・シリア地震と能登半島地震の義援金にしました。

今回で5年間の広報部を降りますが、コロナ禍においてはリモートの情報伝達も進化し、新たにQRコードで活動動画などを伝え、ボランティア団体紹介誌の最新版をネット配信しています。防災特集として臨時号を発行し、Web版89号では「ふれあい広場鈴鹿」15ページを配信するなど鈴鹿市以外の方々にも伝わるように、広報活動に努めました。

団体紹介誌製作では皆様の活動愛を感じ、DX時代の通信インフラや配信では社協の協力を得て、ソフト習得を通して世界の人々の知恵に学べて感謝です。また全国各地のボランティアの考え方に接することができて幸いでした。有難うございました。

(広報部 高本英人)